

会議の概要

行政委員（江東区、環境局（代理事務局）、江戸川区）からの情報提供として、観光いべんとかれんだー（パンフレット）、平成 17 年度の水質調査結果、新川沿川の水辺に関する構想についての紹介がありました。そして、行政委員と都民委員との間で意見交換が行われました。

次いで、「江東内部河川の舟運を考える」ための話題として、行政委員（江東治水事務所、都建設局河川部、墨田区、江東区）から、江東内部河川流域及び隅田川にある防災船着場や船が接岸できる護岸、北十間川水辺活用構想（素案）、江東区の水上市バス（現在は廃止）、扇橋閘門と荒川ロックゲートの利用状況、隅田川テラスの簡易船着場整備について情報提供がありました。そして、行政委員と都民委員との間で意見交換が行われました。

最後に、事務局より、第 4 期江東内部河川流域連絡会のまとめについてのお知らせがありました。

江東区「観光いべんとかれんだー」水辺のイベント

江東区区民部から年 4 回発行しています。

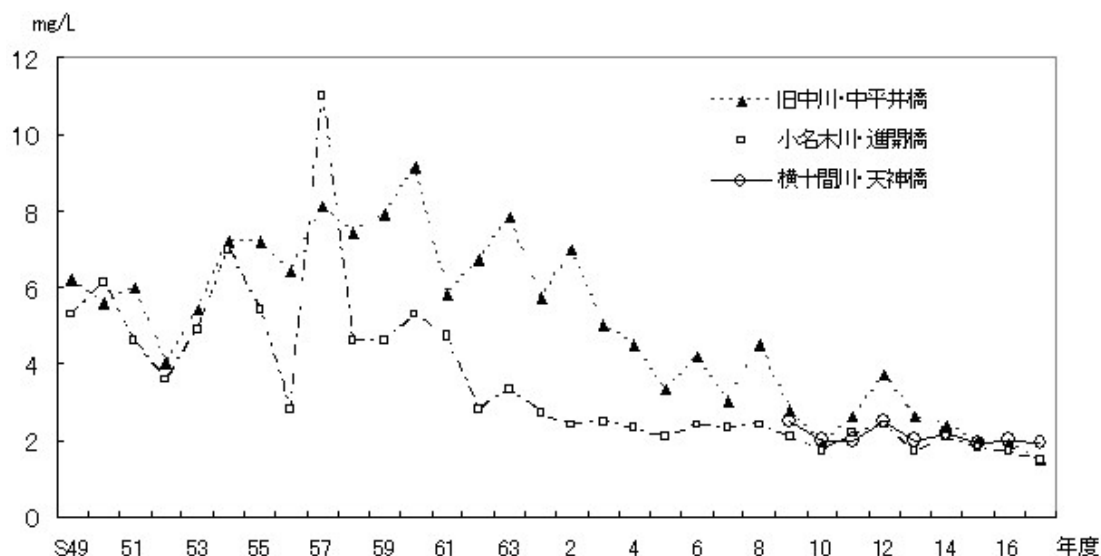
観光いべんとかれんだー掲載内容

実施日	イベント名	河川名・場所	主催者
3月下旬～4月上旬	お江戸深川さくらまつり	大横川 黒船橋～東富橋	深川観光協会
4月～5月	牡丹祭り	古石場川親水公園 牡丹一丁目～古石場三丁目	地元商店街
4月中旬～5月上旬	鯉のぼり	北砂水上公園ほか 北砂1-2-1ほか	江東区
7月下旬	灯ろう流し（川施餓鬼）	高橋（小名木川） 高橋下	深川仏教会
9月上旬	水彩フェスティバル	クローバー橋・水門橋周辺 北砂一丁目周辺	水彩都市アピール実行委員会



平成 17 年度の水質測定結果について

江東内部河川の水質は、環境基準の類型を概ね満たしていて、安定的で、昭和 40 年代より良い状況となっています。詳細については、次回、環境局から説明する予定です。



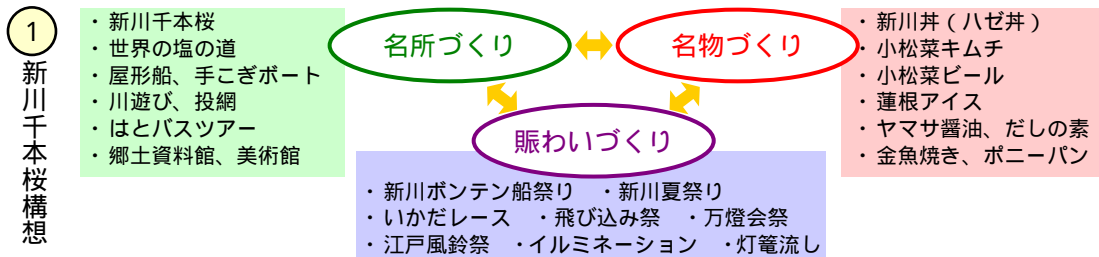
江戸川区「新川千本桜構想（塩の道復活）」ほか

江戸川区では、親水公園、親水緑道のネットワークを概成する中で、荒川や旧中川の修景整備等が進められていて、小松川千本桜を含め、約 6,500 本の桜が植えられています。

そこで、昔の名前を船堀川といい、寛永 6 年（1629 年）に行徳の塩を江戸へ運ぶための水上輸送路として小名木川とつながっていた新川について、現在は水門で仕切られているため船の通航はありませんが、都市内の貴重な水辺空間として利用するために、沿川の歴史を掘り起こし、江戸川区の新たな拠点整備として進めていきたいと考えています。

また、旧中川の環境整備が進んできたことからサインを設置することにしました。

最後に、「川サミット」とは一級河川の名前を持った自治体が参加するサミットですが、今年は江戸川区での開催を考えています。



② 旧中川の河川案内サイン（区境標示サイン）設置位置イメージ



旧中川の河川案内サイン

③ 第16回全国川サミット in 荒川



第16回全国川サミット in 荒川

行政委員からの情報提供についての意見交換

都民委員 行政委員

江東区のパンフレットは何部くらい発行しているのか。東京都の西部にも配布するという考えはないのか。

江東区区民部で発行していて、部数はそんなに多くありません。江東区の出張所など江東区の中で配布しています。

新川は船が走ることが、可能なのか。駐車場が（川の）下にできてしまって（船が）江戸川に抜ける可能性がないと聞いた。新川沿いには、寺や神社などがまだあり、良い風景が残っていて魅力的である。

新川は地盤沈下に伴い、西側の西水門と中川の堤防で、東側は東水門と新川東樋門で仕切られています。この東水門の西側は樋門構造になっていて船が通れない形になっています。現実的には非常に難しいと思います。

旧中川のふれあい橋周辺には、週末になると釣り人が多い。釣った魚を食べられるのであれば子供達も川に関心を寄せてくれると思う。川の底の土質や魚の検査はできないか。

現在、川床の土を東京湾の埋立地で処分する場合に、土質の調査を行っています。

江東内部河川の舟運を考える

防災船着場・舟が接岸可能な護岸

江東内部河川には、防災船着場(東京都整備 1 箇所、区整備 6 箇所、区整備予定 2 箇所)や舟が接岸可能な護岸(既設 3 箇所、予定 2 箇所)が整備されています。

防災船着場とは、地震などの災害時において、河川舟運が住民の避難や応急物資の輸送などの機能を有効に果たすための拠点として整備するものです。震災時での有効な活用のみならず、平常時の利用について、現在、越中島防災船着場(隅田川)にて、屋形船などの発着場としての活用を試行しています。

【防災船着場や舟が接岸可能な護岸の設置場所については表紙を参考】

越中島防災船着場における平常時利用

試行期間：H18.6.1～H19.3.31

利用機関：概ね午前 9 時～午後 10 時

管理運営：東京都公園協会

対象船舶：最大全長 30m、最大喫水 2m までの動力船

利用方法：利用者登録をして事前予約

利用料金：1 回 1,000～5,000 円

船舶の大きさ及び利用目的に応じる

利用実績：屋形船 468 件 (H18 年)

その他営業船 29 件

墨田区「北十間川水辺活用構想(素案)」

昨年 2006 年 3 月に、業平橋付近に第二東京タワーが建設される決定を受け、墨田区では、新タワーの南側となる北十間川を中心とした江東内部河川の水辺ネットワークを検討してきた、去る 11 月に「北十間川水辺活用構想(素案)」を策定しました。今後、ご意見等をいただき、今年 3 月を目途に構想を最終的に策定する予定です。この構想(素案)では、水辺活用コンセプトとして「水辺再生による下町文化の創成～水辺拠点形成と水辺の賑わいネットワークの形成～」を掲げ、新タワーが完成する 2011 年に向けて検討を進めています。なお、タワー開業時には年間約 500 万人の集客が想定されているので、新タワー地区と錦糸町・亀戸地区を結び形で舟運ネットワークを実現したいと考えています。



江東区「水上バス」

江東区は、全体面積の約 10%が水域であり、河川・運河が約 33ha あります。こうした水の都のシンボルとして、昭和 60 年より 13 年間「こうとうりばー」「かななみ」2 隻(各定員 70 名)の水上バスを運航させました。当初は乗船率が 90%以上ありましたが、リピーターの減少や船舶維持費用の増大等があり、廃止しました。



扇橋閘門・荒川ロックゲートの通航船舶数

扇橋閘門は平成14年度より、荒川ロックゲートは開業した平成17年度より、その通航船舶数をまとめると右表のようになります。

はしけとは、動力を持たない船舶で、曳舟で引いて通航します。なお、荒川ロックゲートの表では、曳舟ははしけと一組で計測しています。また、扇橋閘門では平成18年度からプレジャーボートの計測を開始しました。(4-12月169隻)

【扇橋閘門実績】

年度	稼働日数	通航数	内訳			
			曳舟	はしけ	水上バス	その他
平成14年度	296	1,828	650	186	152	840
平成15年度	300	2,431	1,062	186	2	1,181
平成16年度	305	2,457	1,073	193	0	1,191
平成17年度	297	1,993	627	170	0	1,196
平成18年度	299	2,067	551	168	0	1,348

【荒川ロックゲート実績】

年度	稼働日数	通航数	内訳		
			曳舟	プレジャーボート	その他
平成17年度	147	1,190	289	212	689
平成18年度	228	1,167	299	287	581

隅田川簡易船着場

隅田川の水辺の賑わい創出のため、誰でも自由に乗降できる船着場を試行的につくりました。



待ち合わせなど、誰でも自由に乗り降りすることができます。小型船舶用の船着場です。注意事項を守り、自己の責任において正しく安全にご利用してください。

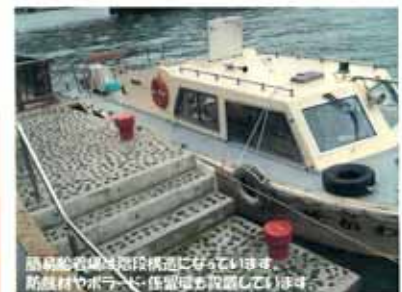
注意事項

- 乗降の目的以外及び長時間の利用はできません。
- 隅田川は潮位差が最大で約2mあり、長時間の停泊は船が損傷する原因ともなります。
- 40t(約12m)以上の船舶は停泊できません。1隻で使用してください。(二重停泊禁止)
- 門扉は川敷からのみ開閉できる構造です。船内に最低1人待機してください。
- コケ等により足元が大変滑りやすくなっていますので、ご注意ください。(お子様が利用する場合は、保護者の付き添いをお願いします。)
- 照明施設はありませんので、夕方以降の利用は十分ご注意ください。
- 空き缶、ゴミ等はお持ち帰りください。
- 地域の迷惑となる行為はやめてください。

※ 施設を損傷させた場合は、乗降者の費用で原状に復旧していただきます。

簡易船着場の利用に関するご意見を皆様からメールにて募集しています。

S0000384@section.metro.tokyo.jp



簡易船着場は階段構造になっており、防舷材やボラー、係留環も設置されています。

- **宮間橋**
【場所】 宮間橋上流左岸(墨田区側)
- **吾妻橋**
【場所】 吾妻橋下流左岸(墨田区側)
平成19年4月よりオープン予定
- **勝間橋**
【場所】 勝間橋上流右岸(中央区側)

江東内部河川の舟運を考えるについての意見交換

都民委員 行政委員

横十間川に舟運ネットワークを通すと、中学生のボート利用との調整をどうするのか。横十間川の中学生のボート艇庫は墨田区教育委員会が管理しています。旧中川にもボート利用があり、非動力船の利用場所に動力船を通航させる場合は、関係部署と調整します。北十間川の川幅では、構想(素案)にあるような大きな船舶は通航できないのではないかと。北十間川の現在の川幅を広げる予定はありませんので、川幅が広いところで回ることや、操舵席が電車のように変わり前後に進める船舶の検討や、手漕ぎ船の使用を考えています。北十間川樋門があり都営地下鉄浅草線が浅いところに埋設されているため、船舶の通航は難しいかと。

遠い将来には、樋門の閘門化や船舶の工夫を検討して隅田川まで船が通れるようにしたいと考えています。それまでは、イベント時に和舟やゴンドラで楽しむことを考えています。川の中に張り出して眺められる箇所など、水辺と一体化した整備を検討してほしい。水中に生息する生物のために、水質を浄化する施設の検討を、ぜひ進めてほしい。

流域連絡会の今後の予定

次回の流域連絡会は、3月28日（水）を予定しています。

江東内部河川流域連絡会・委員名簿

平成19年1月19日現在
敬称略 都民委員は区別・50音順

		住所・団体名	氏名
都民委員	個人	墨田区	阿久沢 八代
		墨田区	石井 貞光
		墨田区	清道 洋一
		墨田区	田中 兼勝
		江東区	菊地 進一
		江東区	氷見 修三
		江東区	山広 勲
		江戸川区	芦田 正次
		江戸川区（勤務地）	堀内 仁之
		江戸川区	山内 久二
団体		江東区の水辺に親しむ会	須永 淑子
		江東区和船友の会	松島 信治郎
		旧中川灯籠流し実行委員会	江頭 正恭
		小松川平井地区連合町会	谷川 貞夫
		江戸川区ボート協会	渡辺 秀郎
		所属・職名	氏名
行政委員		墨田区都市計画部都市整備担当道路公園課長	渡辺 茂男
		江東区土木部水辺と緑の課長	荒川 順二
		江戸川区土木部計画課長	高井 聖
		東京都環境局自然環境部水環境課長	池田 茂
		東京都下水道局建設部土木設計課長	神山 守
		東京都下水道局東部第一管理事務所ポンプ施設課長	安藤 哲男
		東京都建設局河川部副参事（河川管理制度担当）	小谷 健
		東京都建設局河川部副参事（総合治水・低地河川防災計画担当）	大八木 猛
		東京都建設局第五建設事務所管理課長	本間 秀生
		東京都建設局江東治水事務所内部河川工事課長	伊藤 政行
東京都建設局江東治水事務所水門管理課長	土屋 彰夫		

連絡先：江東内部河川流域連絡会事務局（東京都江東治水事務所内部河川工事課内）
担当：吉岡、田村 座長

TEL：03-3692-4945（直通） FAX 03-3696-6499

Email-address：S0200225@section.metro.tokyo.jp